

サンインギク

キク科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

Dendranthema indicum (L.) Des Moulins var. *aphrodite* (Kitam.) Kitam.

国カテゴリー

該当なし

選定理由

国内分布の北限に近く、また産地・個体数ともに少なく貴重である。(現況:R-)

形態

根茎は匍枝をだす。頭花は径3~4cm、上葉および中葉は広卵形、長さ5~7cm、幅4.5~5.5cm、基部は心形で長く柄に沿下する。舌状花は14~24個つき、舌状花冠は長さ15~23mm、幅3~4mm、黄色または白色、ときに淡紅色。

国内分布

富山県から山口県までの日本海側と山口県西部の瀬戸内海沿岸に分布。

県内分布

中能登区。

生態など

多年草、花期は10~12月。

生育環境

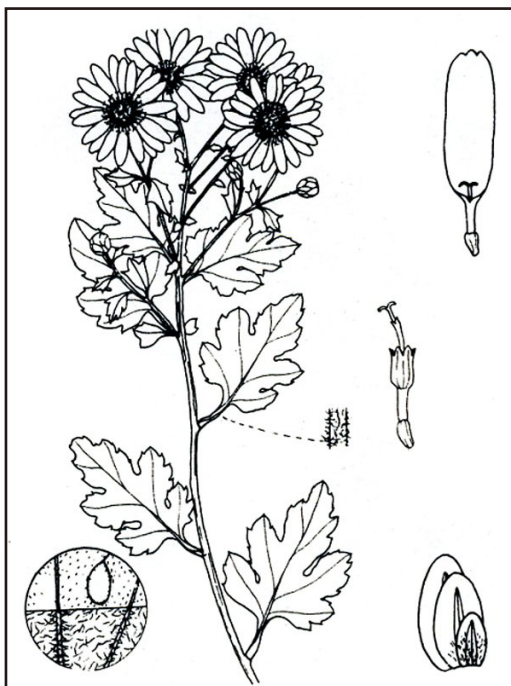
海岸。

危険要因

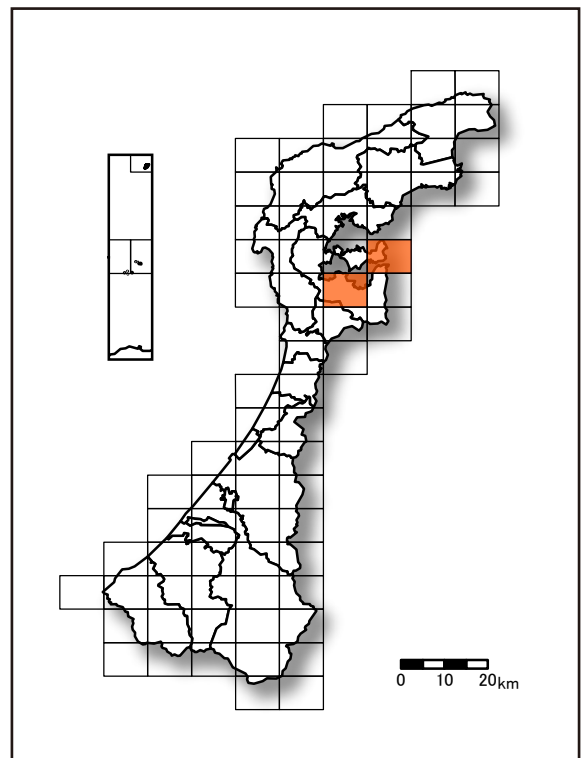
土地造成、園芸採取。イエギクとの間で雑種を作りやすく、遺伝的な汚染が心配される。

特記事項

サンインギクについてはシマカンギクとイエギクの雑種であることが知られているが、石川県産のサンインギクもそうであるのかについては、未解明である。また、最近は目撃情報がない。



小牧 (1987) より引用



県内の分布